

院外茶話

vol.86 平成 24 年 7 月 1 日

野原に家ができて
店ができて街になって
その街が少し古くなって
さて将来の再開発は

自由が丘 過去から未来へ



今の自由が丘駅前広場です。

自由が丘が変わる。商店街を一新して、住宅が移動をして新たなスペースを作る。

本来の街とは、人々が好きなところに住んで、自然にできあがるものだった。だけど、今度は計画的に変える。自然にできるものではないから、どういう街作りをするか、ポリシーを持たなければならない。

それは子供の抱く夢のようなものでいい。どこの大学に行くとか、留学をするとか、そんな具体的なことではない。世界を股に掛けて活躍するとか、芸術的家になるとか、大きな方向性である。

でも、その計画が実行されるのはいつのことか。50年後！そんな先のことが誰にわかるか。自分の50年後なら、墓石のデザインでも考えているだろう。

安易な計画で大工事をした結果、予測がはずれたら、インフラの維持費や借金など、将来に大きなつけを残すことになる。

高島平団地も多摩川住宅も、できた当時は

憧れの的だったが、数十年がたてば高齢化と入居者の減少で、見るかげもない。今の状況は予測ができなかったのか。それとも、当時からわかっていたことで、団地としての役割を終えたのだろうか。

今また中目黒や二子玉川には高層ビルが建って、オフィスや店舗がたくさん入って、新しい街が生まれた。それは近代的できれいな空間だけど、原発の再稼働でもめる今日、大量の電気を消費するビルは、将来にわたって採算がとれるのだろうか。この先、人口の減少にはどう対処をするのか。

そもそも50年前に遡って、今の自由が丘を予測した人がいたか。自分が小学校に通った道は、空き地だらけで畑があって、ときおり蛇も出た。環状八号線はなくて、車も少なかった。

その小学校では、世界人口が30億と習い、花形産業は繊維で、東大卒のエリートは競って東レ、帝人に入社をした。

プールサイドに夏が来りゃ
イエイエイエイエイ・・・
お洒落でシックなレナウン娘が・・・

水着でコマーシャルに出演していたモデルさんは、そろそろ還暦かな？



60年代はこんな水着でした。

たったの50年で、世界人口は70億を超えた。都会で目にする動物はカラスばかり。

当時、手塚治虫が描いた未来の都市には、目を見張ったものだった。それはビルの屋上に道路がつながって、車はビルから道路、道路からビルへと自在に走る。

確かに、その通りになったけど、大気汚染や、とんでもない地価の上昇など、考えてもみなかった。林立する学習塾や老人ホームは、誰が想像しただろう。

50年前。経済の成長期に突入する1960年代は、家電の時代。電化製品は作った先から売れた。やがて物づくりの花形は車になって、作る時代から売る時代へ。

実際に暮らしは豊かになったし、東京オリンピックを経て日本人は自信をもった。

終りのない経済成長と土地神話を信じて、1億総中流と言われたが、バブルの崩壊とともに社会は変わった。新しい産業が生まれて、多くの職業が姿を消した。

映画館は激減した。活版印刷、駅の切符切り、バスの車掌、屋台の支那そば、貸本屋に街の電気屋さんも見なくなった。

生活の中心にはテレビがあって、都会でも田舎でも、同じ番組を見た若者は、似たようなファッションに身を包む。でも、これからはテレビが表舞台から去って、社会を変えるのはネットと携帯電話かもしれない。

未知の世界で街作りに取り組むのだから、どんなことが起こるか分からない。想像もしない職業がどんどんできて、何が消えていくか。

でも、進むべき方向性だけでも見えるとよい。

その未来を占う上で、最も重要なことが人口の推移。世界人口は、50年後には100億に達して、必然的に食糧問題が浮上する。

一方で日本の人口は減り続けて、8674万人と聞くが、どこからこんな細かい数字が出てくるのだろう。

人口の減少とともに、団塊の世代がいなくなれば、高齢化社会の問題も解決するかと思っただが、そう簡単な話でもない。それ以上に若者の数が減るので、高齢者の占める割合は現在の20%代から、40%代に達する。

この人たちは、一体何を生き甲斐にしているだろう。趣味やレジャー、家族が一番の楽しみという回答は返ってくるけれど、一人暮らしになったら家族もあるまい。

多分、生活が便利で、人の気配が感じられて、近くに病院があって、親しみの感じられる街がいい。そんな気がするけど、実際、その年になってみないとわからない。

目指すは、年寄も若者も引き付ける街。よそからも大勢人が訪れて、みんなが共存できる。お洒落で、成熟して居心地のいい街。

休日には若者も年寄も、自由が丘の街をぶらぶら歩いている。日の当たるベンチに座れば、年寄は空を見上げ、若者は携帯をいじって、互いに二言三言、言葉を交わす。

孫の世代には、こんな街になってもらいたいと願う。



昭和10年の自由が丘地図。駅前広場はできたけど、今と大した変わりはありません。